

### 第3回 豊明市文化財保護委員会会議録

日時：平成30年3月16日（金）午前9時30分～12時00分

場所：豊明市役所本庁舎 本館2階 会議室2

出席者：浅井委員、成田委員、三浦委員、相場委員、佐野委員、近藤委員、鈴木委員、岡村委員、永井委員

事務局：高木課長、青木課長補佐、岸田主査、神谷社会教育指導員

傍聴人：なし

#### 1 委員長あいさつ

#### 2 協議事項

##### (1) 平成30年度 文化財保護委員会事業計画の承認について

- ・指定文化財候補の検討・審議を重ね、文化財保護委員会で答申を行う。

##### (2) 平成30年度 大狭間湿地保全計画の承認について

- ・保全整備委託を結ぶ豊明自然観察会からの保全計画書が提出され、承認された。例年どおり10月にも一般公開し、季節限定の花を見学できる機会をつくる。

##### (3) 沓掛城址・旧東海道筋道標案内看板の作成について事務局（案）を提示

###### ○沓掛城址案内看板

- ・市の指定となったことにより既存の看板をつくり替える。
- ・人名や史跡の各部名称の表記で読みづらい箇所には読み仮名を入れた方がよい。
- ・年号表記の仕方として例えば近年では‘平成29（2017）年’または‘2017（平成29）年’と記すことが多くなってきているためどちらかに統一するとよい。

###### ○旧東海道筋道標案内看板

- ・地元住民からの要望により看板を作成する。
- ・注釈の箇所には道標に刻まれた「文化四年」が1807年に該当する旨の文言を入れておくとよい。また道標の東面刻字には「南無阿弥陀佛」の文字が記されているが、これについても信仰を物語るものとして看板に記した方がよい。
- ・今後も街道筋に看板を増やしていく際には統一したデザイン、規格で製作していくことが好ましい。

##### (4) 文化財の市指定について

- ・勅使池遺跡から出土したサヌカイト製の国府型ナイフ形石器を始めとする旧石器遺物4点について市の指定とすることについて事務局より提案。  
特に出土したサヌカイト製の国府型ナイフ形石器は国内分布における東の限界域に位置するものであり、歴史民俗資料室に訪れた有識者から注目される資料である。
- ・今後、旧石器を扱う専門家に鑑定してもらう機会をつくるとよい。
- ・上高根行者堂 役行者の彫像について以前、文化財保護委員会で現地調査

を行ったが、これについても市の指定とすることがどうか考えていく必要がある。

(5) 視察研修について

- ・弥富市の野鳥公園と愛知県埋蔵文化財センター等を予定する。
- 木片・石器など出土遺物の保存・保管方法についてバックヤードの見学も含めて願います。

3 その他

○平成30年度、31年度歴民企画展

(相場委員 説明)

- ・平成30年度は豊明の自然の現状がどうなっているのかを展示する。
- ・平成31年度はまだ決まっていないが、市になってから豊明がどう変わっていったのかを検討したい。
- ・平成32年度は伊藤両村の企画を計画する。

(事務局 説明)

- ・大府市より平成31年度に共同で巡回展を行いたい旨の話があった。内容は桶狭間の戦いに関する城を扱い、豊明市からは沓掛城址を展示の一部に入れる考えである。

詳細については後日、大府市から話があるので5月の委員会で状況を報告したい。

- ・今後桶狭間の戦いについてのPRをもっと行い、国から伝説地とした理由を探すとよい。(岡村委員)

○平成30年度広報特別号掲載記事について

- ・鈴木委員が桶狭間の戦いに関する記事を作成し、6月号に載せる。

○市内歴史的建造物要綱作成について

- ・事務局で作成した案を提示。次回5月の会議までに各委員からの意見を集約する。

○戦人塚整備について

- ・平成30年度に入ったら境界測量と登記を行う。  
4月の初めに交付申請を受け、現状変更申請を提出する。5月初めに許可申請を行い8月に国から許可が下りる予定である。10月頃には工事を発注するため現場の様子について文化財保護委員の方々に見ていただきたい。

○一之御前安産水の整備計画について

- ・井戸水を掘削することについて平成30年度に実施計画に上げ、31年度に実施計画に上げる。

○「市制50周年史」、「豊明文化財保護の歩み」の作成について

- ・4年後の市制50周年に向けて作成するとよい。(浅井委員)

次回文化財保護委員会 平成30年5月11日(金) 9時30分から  
市役所東館 教育委員会室